

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和6年11月6日5校時

13:30～14:15

対 象 第3学年2組 27名

指導者 教諭 永富 敬之

1 単元名 「地域マップをつくり、池上をPRしよう！」(12時間扱い)

2 単元目標

池上小学校周辺の地域や自分の生活地域に関心をもち、すすんで調べたり発表したりする活動を通して、地域の特徴・特色について理解し、効果的な表現方法を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の危険なところや安全なところ、特色について理解している。 ②目的に合った方法を選んで発表資料を作成することができる。	①必要な情報を集め、取捨選択して効果的に活用している。 ②収集した情報や自分の考えについて適切な表現方法を選び、まとめたり、伝えたりしている。	①学習したことをもとに、地域の安全のため、地域をPRするために自分ができることを考えようとしている。 ②協働的に課題解決に取り組み、ねらいにむかって粘り強くやり抜こうとしている。

4 単元について

(1)指導内容

探究的な活動を支える土台として、各教科等を効果的に関連させ、横断的・総合的な学習を行う。まず、社会科単元「わたしたちの大田区」において、地域の様子について学習し、「くらしとお店」の単元で学んだことを新聞の形式でまとめさせた。さらに、国語科単元「ポスターを読もう。」で、ポスターの特徴や書き方など、学んだことの表現の仕方を身に付けさせた。

本単元では、上記の教科で学んだことを生かし、どのような表現であれば、自分たちが伝えたいことを伝えることができるのか、考えさせていく。

各教科等との関連を児童にも意識させ、自分たちの課題解決のために、各教科等での学びが活用できることを実感させるとともに、おおたの未来づくりの素地づくりをしていく。

(2)創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

本校では5年生のおおたの未来づくり科として地域の河川『呑川』をテーマにB.地域創生に関わっていく。そうした単元計画のカリキュラム・マネジメントをしていく上で、系統的なつながりを期待して設定したのが、本単元『地域マップをつくり、池上をPRしよう！』である。本単元では3年生が、馴染み深い地域の各箇所を「PRするという視点」で再認識する経験を積ませていく。また、危険な箇所を調べ紹介することで、誰にとっても危険があるのか、どうすれば安全に利用できるのかなどといった、相手意識を必要とする学習課題を解決する経験を積むことで、地域のニーズに応え、自ら地域貢献に寄与する態度を構築する基盤になることを想定して指導していく。

以上のことから、特に本単元で意図的に向上させたい素地として、「粘り強く取り組む力」「柔軟な発想力」の2つを挙げ、試行錯誤しながら「よりよく池上の町をPRし、この町を盛り上げていく」ことができるよう導いていく。

5 児童の実態

本学年の児童は、学習や活動に意欲的に取り組み、何でも楽しんだり、友達と協力したりすることができる。算数で学んだ棒グラフの書き方を活かして、社会科の新聞に活用する様子も見られる。学んだことを活かそうとする姿勢を本単元で発揮させたい。そのため、既習事項をどのように活用するのかについて、話し合い検討する場面に重点を置き、目的に応じた表現方法を選択できるよう指導を行う。

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付ける。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

(1) ICTの活用

グーグルマップを活用して地域について調べる活動を取り入れることで、学習内容を焦点化して情報を収集できるようにする。

(2) 話型の活用

話し合いの手がかりとして話型を取り入れることで、自分の考えをより明確にして伝え、目的に合った話し合いが円滑に行われるようにする。

(3) グループでの活動

登下校コースごとに、3人1組または4人1組で、特色を調べるグループ、危険を調べるグループを決める。発表資料を決める際、グループでの話し合い活動を取り入れることで、より目的に合った表現方法を決めることができるようにする。

(4) 適正ツールシートの活用

発表形式を決める際、それぞれの形式の良さがわかる適正ツールシートを活用することで、収集した情報を目的に応じて効果的に表現することができるようにする。

(5) 見本の提示

実際にポスターや新聞などの見本を提示することで、適正ツールシートに書いてある内容を視覚的に理解し、完成のイメージをもってより適切な発表形式を選ぶことができるようにする。

(6) 校外で行う活動

グーグルマップで調べた後、地域に実際に行き直接体験をすることで、調べたことと実際に見たこととを比較して考え、情報を吟味し、整理・分析に生かすことができるようにする。

(7) 振り返りの時間

毎時間振り返りを行うことで、自らの学びを意味付けたり価値付けたりして自らの学びを自覚し、他者と情報を共有するときの協働的な学びにつなげるようにする。

8 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て	◆評価規準 【観点】(方法)
1	課題の設定	○地域の人々が、「このまちをよりよくPRして、池上を盛り上げていってほしい。」という願いをもっていることを聞き、その願いに応えようとする気持ちをもつ。 ○通学路や地域の特色・危険について話し合い、学習の見通しをもつ。 ○地域マップ作りの計画を立てる。 ★振り返りの時間	【主】①(振り返り)
2～4	情報の収集	○グーグルマップを用いて、通学路や地域について調べ、危険箇所や安全を守るための工夫、地域の特色を見つける。ワークシートにまとめる。 ○調べた危険箇所・安全を守るための工夫、地域の特色の中から、発表する箇所を決める。 ★ICTの活用、振り返りの時間	【知】①(グーグルマップの活用) 【思】①(ワークシート)
5～7	整理・分析	○収集した情報や自分の考えについて、グループで話し合い、適切な表現方法を決める。 ★グループでの活動 ★振り返りの時間 ★適正ツールシートの活用 ★見本の提示 ★話型の活用	【主】①②(振り返り) 【思】②(話し合い活動、振り返り)
8・9	検証①	○実際に池上小学校周辺を探索し、調べたことや考えたことを確認する。 ★校外で行う活動 ★振り返りの時間	【思】②(振り返り)
10・11	まとめ	○グーグルマップで調べたことや池上小学校周辺を探索したことをもとに、発表資料を作成する。 ★振り返りの時間	【思】②(振り返り)
12・13	形成・表現	○地域の方へ「池上をよりよくPRする」発表会の練習として、クラス内で発表会をし、よりよい伝え方に改善していく。 ★振り返りの時間	【主】①②(振り返り)
3学期	表現	○学校公開で地域の方(保護者)へ向けてPR発表会を行う。 ★振り返りの時間	【知】②(発表) 【主】②(振り返り)

9 本時の指導(全12時間中の第7時)

(1) 目標

(2) 展開

4

	え方(新聞かポスターか紙芝居)の準備をしながら、よりよい書き方などについて話し合う。 ○話し合って決めた伝え方を発表する。 ・赤・青・緑・白コースの安全・特色の代表児童が発表する。	・学校公開で新聞をどのように発表するかについて、相手に配るのか、拡大して見せるのか考えさせる。 ◆収集した情報や自分の考えについて適切な表現方法を選んだり、話し合ったりしている。 (観察・学習カード) ★適正ツールシートを根拠に挙げたり、伝える相手をはっきりさせたりして、よりよい伝え方を発表している姿を価値づける。
振り返り 10分	○今日の話し合いを振り返って、よりよい伝え方を決めることができたかワークシートに書く。	★振り返りをするすることで、次の話し合いで活かせること気付かせるようにする。